平成29年度 国有林野事業業務研究発表会

と き 平成29年11月30日(木) ところ 農林水産省 第一会場:第3特別会議室(本館7階ドアNo.714)

第二会場: 共用第1会議室(本館7階 ドア№767)

【開 会 式】 第一会場 9:30~ 9:45

【各部門発表】

森林技術部門 第一会場 10:00~16:05

• 森林保全部門 第二会場 10:00~12:10

• 森林ふれあい部門 第二会場 13:10~15:45

【特別発表】 第一会場 16:05~16:35 「ドローンによる森林観測技術」

【講評·授賞式】 第一会場 17:00~18:00

【森林技術部門】 14課題



林業の低コスト化等に向けた森林施業技術、 災害時のヘリ調査、木材利用の促進、シカ食 害防止技術の取組等について

【森林保全部門】 6課題



多様な森林生態系の保全管理、希少な野 生動植物の保護の取組等について

【森林ふれあい部門】



国有林を活用した地域振興、地域と連携 した森林環境教育の推進、地域課題解決に 向けた取組等について

【特別発表】

「ドローンによる森林観測技術」

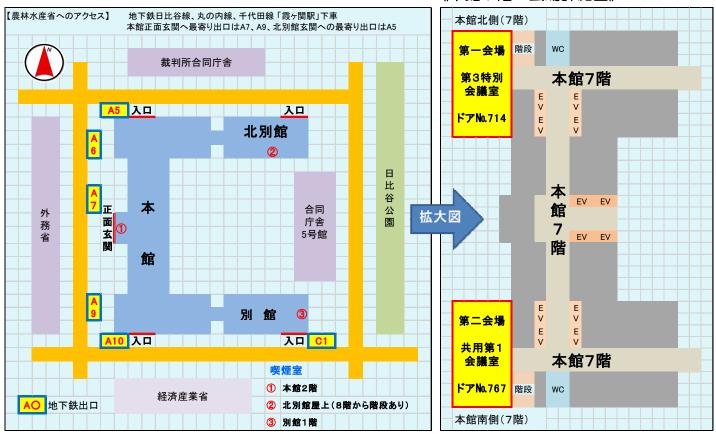


<i>"</i> +		平成29年度 国有林野事業業:	務研究的					
《森 No.	林技術 発表	一批門		発表者	↑ 本館7階 第3特別会議室 -			
140.	時間	尤以休慰力	森林管理局		氏名(元所属)			
	10:00	北海道国有林におけるコンテナ苗の効果の検証	北海道	森林技術・支援センター	山嵜孝一			
1	~	コンテナガけ ボコストきはへの知待のもとに道えされ利用が拡大して	、こんご -1レ は	森林整備部 森林整備第一課 	宿南 恭兵 			
	10:20 コンテナ苗は、低コスト造林への期待のもとに導入され利用が拡大しているが、北海道の主要造林樹種での効果や活用法は試行得られたデータから、造林コスト低減に向けた効果を検証する。							
	10:20	20年経過した低密度植栽試験地から低コスト造林を考察する	関東	森林整備部 森林整備課	上田 萌香			
2				棚倉森林管理署	町田 貴弘			
	10:40	低密度植栽試験地の3調査区(ヘクタール当たり600本、800本、1,200 滅、植栽密度の違いが将来の成長に与える影響等について発表する。	本他萩川こみ	らける調食結果に基つさ、他栽密度の考	え万を整理し、再道杯コ <i>人</i> ト削 -			
3	10:40	大苗植栽による低コスト造林方法確立への取組	九州	大分森林管理署	渡辺 行直			
	11:00	2カネット等の防護資材を使用したシカ被害対策は、多大なコストが掛かり、主伐・再造林を妨げる要因になっている。そこで、ディアラインでの大苗を植栽することで、シカの食害を防ぎ、かつ下刈も省略するという大胆な造林の低コスト化に取り組んだ。 【休頼 10分】 11:00 ~ 11:10						
	11:10 ~ 11:30	再造林の低コスト化に向けて放つ4本の矢 ~①一貫作業②コンテナ苗③低密度植栽④天然更新~ 主伐期に達した林分が増加する中、確実な更新を確保するため、再造材	北海道	森林整備部 森林整備第一課	小林 龍雄			
4					(元 上川南部森林管理署) 新井 雄大			
				 コスト化が課題となっている。この課題克	 服に向け、平成27~29年度にか			
	11:30	けて挑戦してきた4つの取組について発表する。			久保 喬之			
5		伐採跡地のヒノキ天然更新過程について	中部	木曽森林管理署	池端 久美子			
J	11:50	木曽ヒノキの天然更新について、現在の林分の状況から伐採跡の更新	温 和太推测					
		不自己プイの人然受制にプルで、現在の杯力の仏がから民体跡の受制	四性で形別	することでは、天王の仏がから史制に有	利な木件について方奈りる。			
6	11:50	山地災害発生時におけるヘリ調査の留意点について	東北	計画保全部 治山課	有馬 俊英			
	12:10	山地災害発生時に実施するヘリ調査はやりなおしのできない重要な業別調査を実施するため、ヘリ調査の留意点を整理し対応策を検討した。	努であるが、	災害時は不測の事態が連続することか	ら、混乱を最小限に抑え、確実な			
	13:10	【昼休み 60分】 初回間伐における立木システム販売の試み 〜経費削減と森林整備〜	12:10 ~	13:10	福岡 恵子			
			関東	磐城森林管理署	(元 茨城森林管理署)			
7			システム販	株式会社トーセン 売」を活用した低質材供給の取組につい	小髙 哲夫 小髙 哲夫			
	13:30	13:30 平成26年度から茨城署と塩那署で行われている「国有林材の安定供給ンステム販売」を活用した低質材供給の取組について間伐方法の違い「 事業コストの比較や、事業実行過程で生じた課題の一考察を発表する。						
8	13:30	ヒノキ・ケヤキ混交林におけるケヤキの成長	中部	飛騨森林管理署	西村 千夏 大嶋 一輝			
	13:50	広葉樹施業のためのデータ蓄積の一環として、明治43年に植栽された	ヒノキとケヤ	! 'キの混交林において標準地調査を実施	し、過去のデータとの比較を行う			
	13:50	とともにケヤキの成長状況について考察する。 宮城北部森林管理署における斜め張り防鹿柵の事例報告 ニホンジカによる森林被害に対し、設置コストが低い「斜め張り防鹿柵」を	東北を導入し、こ	宮城北部森林管理署	土谷 徹			
9	~			三陸北部森林管理署久慈支署	小林 あずみ			
	14:10				│ <u>(元 宮城北部森林管理署)</u> ストをシミュレーションし、他の方			
	14:10	式の防鹿柵と比較し、「斜め張り防鹿柵」のメリット、デメリットを考察した。	近畿中国	50 mb, 1, 大 + 你 TP 'P	小林 正典			
		シカによる緑化被害の対策について ※山東業におけるシカによる緑化被害対策のため、シカの行動策を調達		和歌山森林管理署	岡井 邦仁 秋田 顕二			
10	~			広島森林管理署 ふできない冬供を分析 佐被夢による	(元 和歌山森林管理署)			
	14:30	○ 治山事業におけるシカによる緑化被害対策のため、シカの行動等を調査し、シカが侵入できない条件を分析。竹被覆による侵入防止工法を検討した。また、 工夫を凝らした方法によりシカ捕獲を行った。 【休憩 15分】14:30 ~ 14:45						
	14:45		四国	+.+3 │ │嶺北森林管理署	吉本 和正			
11	~			安芸森林管理署	(元 安芸森林管理署) 福山 敦之			
	15:05	今後、森林資源の循環的な利用を図る上で、伐採後の再造林が確実に		 低コストでの施業がいっそう重要となって				
	15:05	なニホンジカ食害対策等を検討し、併せてドローンを活用したネット巡視の	り取組を行つ	たので発表する。				
12	~	シカネットにおける「宙かせ張り」の実施検証について	九州	西都児湯森林管理署	田中 善成			
	15:25	近年、ニホンジカ等野生鳥獣の増加に伴い、森林被害が深刻化しており ネット柵等のトータルコストの低減化が期待できる宙かせ張りの設置方法						
13	15:25 ~	立木を利用した斜め張り防護柵のシカ侵入防止効果の検証について	近畿中国	岡山森林管理署	丸山 晃央			
	15:45							
H	て、斜の張り防護柵のンカ侵入防止効果等について検証した。				萩野 伸二			
14	~	ニホンジカ被害防護対策の労力、経費節減の試み	四国	四万十森林管理署	豊永 憲文			
'-		防護ネット、ツリープロテクター等従来のニホンジカ食害防護対策におけ	 ⁻ る労力、経		<u>(元 高知中部森林管理署)</u> め、当署では、電気柵及び軽量			
-	16:05	化した斜張式防護ネットを設置し、その効果を検証しているところであり、	その途中経	過を発表する。				
特別発	16:05	ドローンによる森林観測技術	rsica	るスマート精密林業コンソーシアム (アジア航測株式会社)	大野 勝正			
表	16:35	平成28年12月8日に設立された「LSによるスマート精密林業コンソーシア 用した林分状況調査・樹高測定などの森林観測技術等について紹介する	ミコンソーシアム」のこれまでの取組や、ドローンによる空中写真撮影と3次元点群生成技術を利いて紹介する。					

森	林保全	部門》	1	第二会場:農林水産省 本館	7階 共用第1会議室(午前)
No.	発表 時間	発表課題名	森林管理局	<u>発表者</u> 森林管理署等	氏名(元所属)
	10:00	最北の海岸防災林施業モデル 〜造成50年を経て更なる機能発揮への取組と検証〜	北海道	林野庁 森林整備部 計画課	尾関 洋 (元 宗谷森林管理署)
1	~ 10:20	最北で三方を海に囲まれた厳しい環境の宗谷地域において、海岸防災	林を将来に	宗谷森林管理署 わたり活力ある森林として維持管理して	│大和屋 孝 いくため、効果的・効率的な森林
	10:20	整備を行いながら、地域の施業モデル林へ向けた取組を報告する。			
2	~	民国連携による「松くい虫防除帯森林」の造成について	東北	盛岡森林管理署	松尾 亨
	10:40	松くい虫防除帯森林の造成には、森林所有者の合意形成と林帯幅の研 連携を図り、技術的支援やアカマツ材の販路拡大、低コスト更新技術の閉			頭解決に向け、民国が協定により -
2	10:40	市町村等と連携した森林放射性物質対策事業の取組と効果の検 証	関東	福島森林管理署	林崎 裕一
3	11:00	福島県における森林再生事業の効果をより一層高め、地域住民の放射確認するための定点観測と、地元住民への意見聞き取りの成果について		 - を取り除くため、市町村等と連携して実	
		【休憩 10分】1		1:10	
4	11:10	南信森林管理署におけるニホンジカ対策の取組について ~10年間の「職員によるくくりワナ捕獲」~	中部	南信森林管理署	南坂 節子
7	11:30	急激に増加したニホンジカによる農林業被害等が深刻化する中で、防原施しており、この間の取組の成果と課題を総括し、今後の被害対策の方「			
5	11:30	大杉谷国有林における防鹿柵設置による森林植生の回復につい て~成功例を検証する~	近畿中国	三重森林管理署	石井 貴史
	11:50	ニホンジカによる森林被害が深刻な大杉谷国有林において、平成15年1 に向けて、天然更新を活用した植生回復策の検討を行った。	こ設置した『	」 方鹿柵の内側に成立した林分の植生調	」 査を行い、未立木地の早期解消
	11:50	中間川木道周辺マングローブ林等モニタリング調査について	九州	西表森林生態系保全センター	山部 国広
6	~ 12:10	木道設置に伴う周辺環境への影響の有無を調べるため、木道周辺のマ	ン グローブ	 	 の生息・生育状況、木道の利用
		状況等についてモニタリング調査した最終報告書をとりまとめた。 【昼休み 60分】	12:10 ~	13:10	
(森:	林ふれ	あい部門》		第二会場:農林水産省 本館	7階 井用第1会議室(午後
No.	発表	発表課題名			· / / / / / / / / / / / / / / / / /
			* 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		Z 2 / - T = \
	時間	1 11	森林管理局		氏名(元所属)
1	13:10	将来の森林づくりを担う人材育成への貢献	森林管理局 北海道		片山 洸彰
1	13:10	1 11	北海道	森林管理署等 十勝西部森林管理署	片山 洗彰 竹部 修二
1	13:10	将来の森林づくりを担う人材育成への貢献 ~森林・林業教育支援プログラムの取組~	北海道	森林管理署等 十勝西部森林管理署	片山 洗彰 竹部 修二
	13:10	将来の森林づくりを担う人材育成への貢献 ~森林・林業教育支援プログラムの取組~ 森林・林業における課題の一つとして、将来の森林づくりを担う人材育成	北海道	森林管理署等 十勝西部森林管理署	片山 洗彰 竹部 修二
2	13:10 ~ 13:30 13:30	将来の森林づくりを担う人材育成への貢献 ~森林・林業教育支援プログラムの取組~ 森林・林業における課題の一つとして、将来の森林づくりを担う人材育成 だ森林・林業教育支援プログラムについて報告する。 企業及びボランティア団体との連携による取組について	北海道 対は重要な影 東北	森林管理署等 十勝西部森林管理署 果題である。北海道帯広農業高等学校(森林整備部 技術普及課	片山 洗彰 竹部 修二 森林科学科)と連携して取り組ん 岡浦 貴富
2	13:10 ~ 13:30 13:30 ~	将来の森林づくりを担う人材育成への貢献	北海道 大は重要な影 東北 企業及びボ	森林管理署等 十勝西部森林管理署 果題である。北海道帯広農業高等学校(森林整備部 技術普及課	片山 洗彰 竹部 修二 森林科学科)と連携して取り組ん 岡浦 貴富
	13:10 ~ 13:30 13:30 ~ 13:50 13:50	将来の森林づくりを担う人材育成への貢献 ~森林・林業教育支援プログラムの取組~ 森林・林業教育支援プログラムの取組~ 森林・林業教育支援プログラムについて報告する。 企業及びボランティア団体との連携による取組について ~仁別森林博物館・仁別自然休養林を活用して~ 「レクリエーションの森」のサポーター制度を利用し、協定を締結している た体験型森林環境教育や森林整備活動に取り組んだ。 学校との連携を目指して ~ESDの視点を取り入れた森林環境教育の取組~ 森林環境教育(森林ESD)活動報告・意見交換会を企画。森林を活用し	北海道 は重要な影 東北 企業及びポ 近畿中国 た環境教育	森林管理署等 十勝西部森林管理署 果題である。北海道帯広農業高等学校(森林整備部 技術普及課 デランティア団体と連携して、仁別森林博 箕面森林ふれあい推進センター の取組事例の収集と併せ、学校と活動「	片山 洸彰 竹部 修二 森林科学科)と連携して取り組ん 岡浦 貴富 物館や仁別自然休養林を活用し 池田 克司
2	13:10 ~ 13:30 13:30 ~ 13:50 13:50 ~	将来の森林づくりを担う人材育成への貢献 ~森林・林業教育支援プログラムの取組~ 森林・林業教育支援プログラムの取組~ 森林・林業教育支援プログラムについて報告する。 企業及びボランティア団体との連携による取組について ~仁別森林博物館・仁別自然休養林を活用して~ 「レクリエーションの森」のサポーター制度を利用し、協定を締結しているた体験型森林環境教育や森林整備活動に取り組んだ。 学校との連携を目指して ~ESDの視点を取り入れた森林環境教育の取組~ 森林環境教育(森林ESD)活動報告・意見交換会を企画。森林を活用し、 等を検証し、成果をとりまとめた。学びと交流の場の提供がセンターの重要	北海道 北海道 東北 近業及びボ 近畿中国 た環境教育で 要な役割で	森林管理署等 十勝西部森林管理署 果題である。北海道帯広農業高等学校(森林整備部 技術普及課 デランティア団体と連携して、仁別森林博 箕面森林ふれあい推進センター の取組事例の収集と併せ、学校と活動にあると認識した。	片山 洸彰 竹部 修二 森林科学科)と連携して取り組ん 岡浦 貴富 物館や仁別自然休養林を活用し 池田 克司 団体双方からESDの視点で活動
2	13:10 ~ 13:30 13:30 ~ 13:50 13:50 ~ 14:10	将来の森林づくりを担う人材育成への貢献 ~森林・林業教育支援プログラムの取組~ 森林・林業教育支援プログラムの取組~ 森林・林業教育支援プログラムについて報告する。 企業及びボランティア団体との連携による取組について ~仁別森林博物館・仁別自然休養林を活用して~ 「レクリエーションの森」のサポーター制度を利用し、協定を締結している た体験型森林環境教育や森林整備活動に取り組んだ。 学校との連携を目指して ~ESDの視点を取り入れた森林環境教育の取組~ 森林環境教育(森林ESD)活動報告・意見交換会を企画。森林を活用し	北海道 は重要な影 東北 企業及びポ 近畿中国 た環境教育	森林管理署等 十勝西部森林管理署 果題である。北海道帯広農業高等学校(森林整備部 技術普及課 デランティア団体と連携して、仁別森林博 箕面森林ふれあい推進センター の取組事例の収集と併せ、学校と活動「	片山 洸彰 竹部 修二 森林科学科)と連携して取り組ん 岡浦 貴富 物館や仁別自然休養林を活用し 池田 克司
2	13:10 ~ 13:30 13:50 13:50 ~ 14:10	将来の森林づくりを担う人材育成への貢献 ~森林・林業教育支援プログラムの取組~ 森林・林業とはける課題の一つとして、将来の森林づくりを担う人材育成だ森林・林業教育支援プログラムについて報告する。 企業及びボランティア団体との連携による取組について ~仁別森林博物館・仁別自然休養林を活用して~ 「レクリエーションの森」のサポーター制度を利用し、協定を締結している た体験型森林環境教育や森林整備活動に取り組んだ。 学校との連携を目指して ~ESDの視点を取り入れた森林環境教育の取組~ 森林環境教育(森林ESD)活動報告・意見交換会を企画。森林を活用し、等を検証し、成果をとりまとめた。学びと交流の場の提供がセンターの重要 赤谷プロジェクトにおける地域材の活用の取組 ~カスタネットづくりの取組~ 赤谷プロジェクトにおける地域材の活用の取組の事例紹介と今後の地域を表現し、	北海道 北海道 北海道 東北 企業及びボ 近畿中国 た環境教割で変 関東 或材の供給	森林管理署等 十勝西部森林管理署 果題である。北海道帯広農業高等学校(森林整備部 技術普及課 ランティア団体と連携して、仁別森林博 箕面森林ふれあい推進センター の取組事例の収集と併せ、学校と活動にあると認識した。 静岡森林管理署 こついて、みなかみ町におけるカスタネッ	片山 洸彰 竹部 修二 森林科学科)と連携して取り組ん 岡浦 貴富 物館や仁別自然休養林を活用し 池田 克司 団体双方からESDの視点で活動 小向 愛 (元 計画保全部計画課)
2	13:10 ~ 13:30 13:50 13:50 ~ 14:10 14:10 ~	将来の森林づくりを担う人材育成への貢献 ~森林・林業教育支援プログラムの取組~ 森林・林業教育支援プログラムの取組~ 森林・林業教育支援プログラムについて報告する。 企業及びボランティア団体との連携による取組について ~仁別森林博物館・仁別自然休養林を活用して~ 「レクリエーションの森」のサポーター制度を利用し、協定を締結しているた体験型森林環境教育や森林整備活動に取り組んだ。 学校との連携を目指して ~ESDの視点を取り入れた森林環境教育の取組~ 森林環境教育(森林ESD)活動報告・意見交換会を企画。森林を活用し等を検証し、成果をとりまとめた。学びと交流の場の提供がセンターの重新谷プロジェクトにおける地域材の活用の取組~カスタネットづくりの取組~	北海道 北海道 北海道 東北 企業及びボ 近畿中国 た環境教割で変 関東 或材の供給	森林管理署等 十勝西部森林管理署 果題である。北海道帯広農業高等学校(森林整備部 技術普及課 ランティア団体と連携して、仁別森林博 箕面森林ふれあい推進センター の取組事例の収集と併せ、学校と活動にあると認識した。 静岡森林管理署 こついて、みなかみ町におけるカスタネッ	片山 洸彰 竹部 修二 森林科学科)と連携して取り組ん 岡浦 貴富 物館や仁別自然休養林を活用し 池田 克司 団体双方からESDの視点で活動 小向 愛 (元 計画保全部計画課)
2	13:10 ~ 13:30 13:50 13:50 ~ 14:10 14:10 ~	将来の森林づくりを担う人材育成への貢献	北海道 北海道 北海道 東北 企業及びボ 近畿中国 た環境教割で変 関東 或材の供給	森林管理署等 十勝西部森林管理署 果題である。北海道帯広農業高等学校(森林整備部 技術普及課 ランティア団体と連携して、仁別森林博 箕面森林ふれあい推進センター の取組事例の収集と併せ、学校と活動にあると認識した。 静岡森林管理署 こついて、みなかみ町におけるカスタネッ	片山 洸彰 竹部 修二 森林科学科)と連携して取り組ん 岡浦 貴富 物館や仁別自然休養林を活用し 池田 克司 団体双方からESDの視点で活動 小向 愛 (元 計画保全部計画課)
3	13:10 ~ 13:30 13:50 13:50 ~ 14:10 14:30 14:30	将来の森林づくりを担う人材育成への貢献	北海道 北海道 東北 変な影響な 東北 近畿中国 た環境役割で 関東 或材の (430 ~ 1) 九州	森林管理署等 十勝西部森林管理署 果題である。北海道帯広農業高等学校(森林整備部 技術普及課 (ランティア団体と連携して、仁別森林博 箕面森林ふれあい推進センター の取組事例の収集と併せ、学校と活動にあると認識した。 静岡森林管理署 こついて、みなかみ町におけるカスタネッ 4:45	片山 洸彰 竹部 修二 森林科学科)と連携して取り組ん 岡浦 貴富 物館や仁別自然休養林を活用し 池田 克司 団体双方からESDの視点で活動 小向 愛 (元 計画保全部計画課) シト生産を例に紹介する。 西田 卓矢 曲瀬川 淳一
3	13:10 ~ 13:30 13:50 13:50 ~ 14:10 14:30 14:45 ~ 15:05	将来の森林づくりを担う人材育成への貢献	北海道 北海道 北海道 東北 企業 及びボ ・変な 関東 ・変な 関東 ・対象の 会別 は は の 会別 の 会別 の 会別 の 会別 の 会別 の 会別 の	森林管理署等 十勝西部森林管理署 果題である。北海道帯広農業高等学校(森林整備部 技術普及課 ランティア団体と連携して、仁別森林博 箕面森林ふれあい推進センター の取組事例の収集と併せ、学校と活動にあると認識した。 静岡森林管理署 こついて、みなかみ町におけるカスタネな4:45 沖縄森林管理署	片山 洸彰 竹部 修二森林科学科)と連携して取り組ん 岡浦 貴富 物館や仁別自然休養林を活用し 池田 克司 団体双方からESDの視点で活動 小向 愛 (元 計画保全部計画課) か・生産を例に紹介する。 西田 卓矢 曲瀬川 淳一キ・オキナワウラジロガシなどの
2 3 4	13:10 ~ 13:30 13:50 13:50 ~ 14:10 14:30 14:30	将来の森林づくりを担う人材育成への貢献	北海道 北海道 北海道 東北 企業 及びボ ・変な 関東 ・変な 関東 ・対象の 会別 は は の 会別 は は の 会別 は の 会別 は の 会別 は の 会別 は の の の の の の の の の の の の の の の の の の	森林管理署等 十勝西部森林管理署 果題である。北海道帯広農業高等学校(森林整備部 技術普及課 ランティア団体と連携して、仁別森林博 箕面森林ふれあい推進センター の取組事例の収集と併せ、学校と活動にあると認識した。 静岡森林管理署 こついて、みなかみ町におけるカスタネな4:45 沖縄森林管理署	片山 洗彰 竹部 修二森林科学科)と連携して取り組ん 岡浦 貴富 物館や仁別自然休養林を活用し 池田 克司 団体双方からESDの視点で活動 小向 愛 (元 計画保全部計画課) か・生産を例に紹介する。 西田 卓矢 曲瀬川 淳一キ・オキナワウラジロガシなどの
2 3 5	13:10 ~ 13:30 13:50 13:50 ~ 14:10 14:30 14:35 15:05	将来の森林づくりを担う人材育成への貢献	北海道 北本重要なままます。 東北 びボ 国 育でなまます。 東北 びボ 国 育でなまます。 大要な 関	森林管理署等 十勝西部森林管理署 果題である。北海道帯広農業高等学校(森林整備部 技術普及課 ランティア団体と連携して、仁別森林博 箕面森林ふれあい推進センター の取組事例の収集と併せ、学校と活動にあると認識した。 静岡森林管理署 三ついて、みなかみ町におけるカスタネッ 4:45 沖縄森林管理署 里城の復元・修復に使われているイヌマミさきた課題や森林環境教育の実施につしたまた課題や森林環境教育の実施につしたを誘致の一助とするために実施した「こ	片山 洸彰 竹部 修二森林科学科)と連携して取り組ん 岡浦 貴富 物館や仁別自然休養林を活用し 池田 克司 団体双方からESDの視点で活動 小向 愛 (元 計画保全部計画課) か・生産を例に紹介する。 西田 卓矢 曲瀬川 淳一キ・オキナワウラジロガシなどのいて報告する。
2 3 5 6	13:10 ~ 13:30 13:50 ~ 13:50 ~ 14:10 ~ 14:30 14:45 ~ 15:05 ~ 15:25	将来の森林づくりを担う人材育成への貢献	北海道 北本重要なままます。 東北 びボ 国 育でなまます。 東北 びボ 国 育でなまます。 大要な 関	森林管理署等 十勝西部森林管理署 果題である。北海道帯広農業高等学校(森林整備部 技術普及課 ランティア団体と連携して、仁別森林博 箕面森林ふれあい推進センター の取組事例の収集と併せ、学校と活動にあると認識した。 静岡森林管理署 三ついて、みなかみ町におけるカスタネッ 4:45 沖縄森林管理署 里城の復元・修復に使われているイヌマミさきた課題や森林環境教育の実施につしたまた課題や森林環境教育の実施につしたを誘致の一助とするために実施した「こ	片山 洸彰 竹部 修二 森林科学科)と連携して取り組ん 岡浦 貴富 物館や仁別自然休養林を活用し 池田 克司 団体双方からESDの視点で活動 小向 愛 (元 計画保全部計画課) いと生産を例に紹介する。 西田 卓矢 曲瀬川 淳一キ・オキナワウラジロガシなどの 大石 政弘 木曽川下流地域の中京圏との交 森本 吉男
2 3 4	13:10 ~ 13:30 13:50 13:50 ~ 14:10 14:30 14:45 ~ 15:05 15:25	将来の森林づくりを担う人材育成への貢献	北 車 東 北 ボボ 車 東 北 ボボ 車 東 北 ボボ 環な 関 東 水 ボボ 国 育で 対	森林管理署等 十勝西部森林管理署 課題である。北海道帯広農業高等学校(会社会) 森林整備部 技術普及課 (ランティア団体と連携して、仁別森林博工の取組事例の収集と併せ、学校と活動にあると認識した。 静岡森林管理署 三ついて、みなかみ町におけるカスタネ会 (4.45 沖縄森林管理署 里城の復元・修復に使われているイヌマミできた課題や森林環境教育の実施につしてきた課題や森林環境教育の実施につしてきた課題や森林環境教育の実施につしてきた課題や森林環境教育の実施につしてきた課題や森林環境教育の実施につしてきた課題や森林環境教育の実施につしてきた課題や森林環境教育の実施につしてきた課題や森林環境教育の実施についてきた課題や森林環境教育の実施についてきた課題や森林環境教育の実施についてきた課題や森林環境教育の実施についてきた課題や森林等理署	片山 洗彰 竹部 修二 森林科学科)と連携して取り組ん 岡浦 貴富 物館や仁別自然休養林を活用し 池田 克司 団体双方からESDの視点で活動 小向 計画保全部計画課) か・生産を例に紹介する。 西田 卓矢 曲瀬川 淳一キ・オキナワウラジロガシなどのいて報告する。 大石 政弘 本曽川下流地域の中京圏との交 森本 吉男 谷脇 はるか

《農林水産省 案内図》地下鉄霞ヶ関駅をご利用ください。

《本館7階 会場詳細図》



【メ モ】

林野庁